

地域別緑の配置方針

- 1. 都心部地域
- 2. 西部地域
- 3. 北西部地域
- 4. 東部地域
- 5. 島しょ部地域
- 6. 北部地域
- 7. 中山間部地

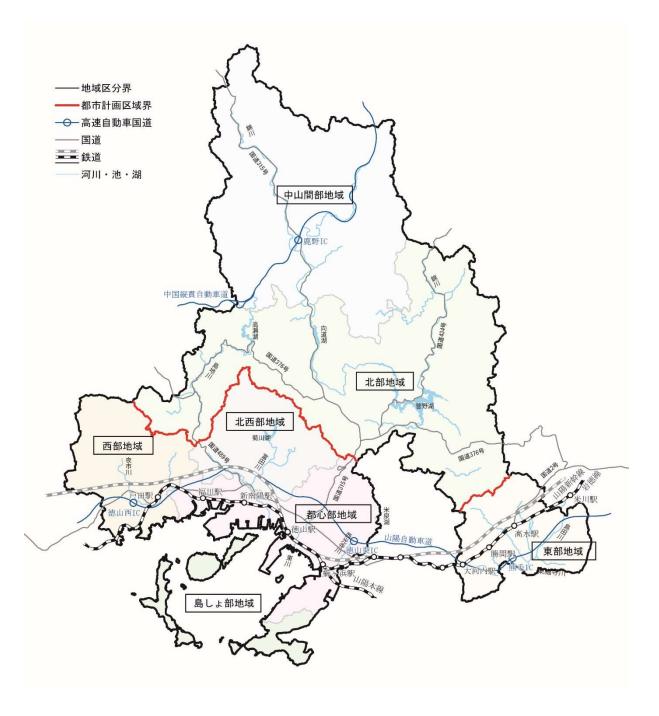
第VI章では、

周南市を7つの地域に区分し、それぞれの地域の 個性をいかした緑の配置のあり方を示しています。

第Ⅵ章 地域別緑の配置方針

都市部から都市計画区域外の農村部に至る範囲を有する周南市においては、地域ごとに、 都市・集落形成過程や、自然環境・景観資源、屋外レクリエーション資源、歴史・文化的風土 等が異なります。

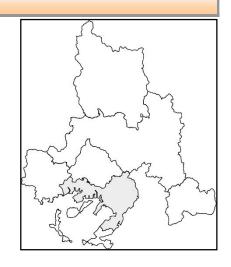
地域別緑の配置方針では、周南市を7つの地域に区分し、それぞれの地域の特性や主な課題を踏まえて、各地域の緑の将来像などを示しています。



図Ⅵ-1 地域区分

1. 都心部地域

都心部地域は、周南市の都市機能が集積した地域で、ま とまった住宅団地等があり、人口が集中しています。地域 の北側には山林があり、南側は瀬戸内海に面しています。 計画的な市街化により街路樹や都市公園などが整備され、 周辺のまちなみと調和した憩いと安らぎの空間を創出し ています。また、周南市を代表する永源山公園、徳山公園、 周南緑地は多くの市民に親しまれており、スポーツやレク リエーションの拠点となっています。東側には、瀬戸内海 を眺望できる太華山が位置し、緑豊かな樹林地が保全され ています。



- 瀬戸内海国立公園
- 優れた眺望地、ハイキングを楽しめる太華山
- 市街地の背後にある森林(岐山・嶽山)
- 広域的な緑の拠点である永源山公園、徳山公園、周南緑地
- 岐山通・御幸通に代表される緑豊かな街路樹
- 夜市川、富田川、東川、西光寺川等の市街地を流れる河川(水辺)
- 中世山城跡の県指定史跡「若山城跡」
- 日本四大八幡宮の一つ「遠石八幡宮」
- 工業地との緩衝帯 (緑地協定等)
- 国際拠点港湾(徳山地区・新南陽地区)
- 徳山漁港、福川漁港



【永源山公園】



【徳山公園 (徳山動物園)】





【太華山から望む周南コンビナート】



【岐山通・御幸通の街路樹】



【周南緑地 (梅の里)】



【太華山山頂】

1-1 主な課題

- 周南緑地、徳山公園、永源山公園を核として、市民の憩いの場となる多様なレクリエーション機能の充実と緑の保全を図るとともに、都市防災機能の充実を図ることが求められます。
- 周南緑地(東・中央緑地)の老朽化したスポーツ施設等の改修・再整備と、駐車場不 足の解消が望まれています。
- 都市公園等の整備・リニューアルについては、子供やお年寄り等だれもが利用しやすいユニバーサルデザインを採用し、安全・安心に公園利用ができることが望まれています。
- JR徳山駅を中心として、港から徳山公園を結ぶ地区においては、緑豊かな道路が整備され、街路樹の育成管理とともに、市民参加による花の演出や沿道の公共施設の緑化により維持されています。今後は、大きく育った街路樹の保全・管理と併せて、さらなる充実・整備が望まれています。また、美術博物館、文化会館、動物園が隣接して配置されており文化・芸術の拠点としての機能性を有していることから、中心市街地とその周辺部での回遊性を持たせ、一体感のある緑豊かな道路空間の充実が望まれています。
- 市街地内及び周辺に位置する、自然豊かな美しい風景地である山・水辺・海については、自然とふれあえる場所であることから、自然環境及び水辺環境・景観の保全と併せて、レクリエーション資源として整備・充実を図ることが望まれています。
- 臨海部の工業地においては、市街地の安全性を高めるため、立地企業の協力により、 緩衝帯となる緑地の配置・整備の促進が望まれています。
- 農地の荒廃、休耕田が増加しており、適切な維持管理と活用が望まれています。

1-2 緑の将来像

うるおいのある緑により、安心・安全、快適に暮らせ、 文化と活力があふれ、にぎわいのあるまち

1-3 緑の保全と創出に関する地域の方向 【都市の骨格となる緑の保全】

● 市街地を環状に取り囲む後背部の山林については、都市の環境を支える骨格的な緑として、適切な維持管理により保全に努めます。

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

- 地域の南北を流れ、瀬戸内海に流入する夜市川、富田川、東川、西光寺川については、ホタル等の多様な野生生物の生息空間としての保全に努めます。
- 大きく育った街路樹は、良好な市街地環境を形成するとともに、生物多様性の確保としても重要な役割を果たしており、これらについては安全確保を最優先に、定期的な剪定の実施等、適切な維持管理により緑の質の向上に努めます。

【利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり】

- 周南緑地周辺地区、中心市街地周辺地区、永源山公園周辺地区は、広域的な緑の拠点となる多様な機能を担う緑地地区として、重点的に緑の保全と創出を図ります。
- 周南緑地、徳山公園、永源山公園については、まちのシンボルとなる公園であり、今後とも多様なニーズに対応したレクリエレーション機能の充実に努めます。
- JR徳山駅を中心に、駅前広場や公園、街路樹等の公共施設について、市の玄関口に ふさわしい、市民ニーズに合致した管理運営や利活用のため、公民連携手法の導入を 検討します。
- 都市公園等は適切な維持管理と活用を図るとともに、整備・リニューアルにあたっては、誰もが利用しやすい公園として、ユニバーサルデザインに配慮し、来園者のニーズを反映した機能の充実を行います。

【身近なオープンスペースの確保】

- 市街地開発事業等に併せて、地域の日常生活において身近な住区基幹公園(街区公園、近隣公園)は地域の特性やニーズに対応した配置を検討します。
- 市街地を流れる河川は、うるおいのある水辺環境・景観の保全に配慮し、人々への親水空間の創出に努めます。
- 長田海浜公園、晴海緑地公園等、瀬戸内海に面する特性をいかした公園の維持管理と活用に努めます。
- 快適で魅力ある市街地を創出するため、状況に応じて余裕のある道路空間を利用したポケットパークの整備を図ります。



【富田川】



【ポケットパーク】

【緑によるうるおいのあるまちなみの創出】

- 中心市街地内の御幸通、岐山通、県道下松新南陽線等の幹線道路を中心とする道路空間や、市役所等の多くの人が訪れる公共施設敷地内の樹木については、適切な育成・管理を図るとともに、一体的な緑化により緑のネットワークづくりを進めます。
- 今後、JR徳山駅前広場や御幸通・岐山通、徳山港線等について景観重要公共施設としての位置づけを検討し、街路樹や広場内の樹木について適切な維持管理を行うことで、安全と景観に配慮したうるおいのある緑の空間の保全を図ります。
- 計画的に開発された住宅地については、地区計画制度の活用や緑地協定の締結など、地区住民の協力により、緑化に関するルールを定め、良好な住環境の創出と、維持・保全を誘導します。

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

- 周南緑地(東・中央緑地)と周陽公園は広域防災拠点、永源山公園は地域防災拠点、 徳山公園については広域避難地としてそれぞれ位置づけられており、都市防災機能の 充実に努めます。
- 住宅地背後における土砂崩壊等の自然災害を防止するため、保安林を中心とした森林・樹林地の保全を図ります。
- 市街地を流れる夜市川、富田川、東川、西光寺川等の河川については、洪水防止対策等、安全性に配慮した整備・改修を進めます。
- 工業地においては、事業者の協力のもと、住工分離を 目的とした緩衝帯となる緑地の適切な配置、保全を誘導します。



【緩衝帯となる緑地】

【緑とオープンスペースをいかした市街地のイメージアップ】

- 港からJR徳山駅、市役所、徳山公園を結ぶ都心軸を中心に、周南市の玄関口として、 都市の顔となる魅力的な緑化を図り、都市のイメージアップを図ります。中心市街地 活性化基本計画に基づき、うるおいとにぎわいのある中心市街地の形成に向けて計画 的な緑化を進めます。
- JR新南陽駅、JR福川駅等の駅前周辺においては、地域特性に応じた緑化を進め、 街路樹や植栽帯、花壇の配置による魅力ある拠点の創出を図り、緑をいかした地域の "顔"づくりを進めます。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- 太華山をはじめとする市街地周辺部の山については、山頂周辺の眺望の確保、登山道の適切な維持管理を図り、ハイキングや眺望が楽しめる空間として活用・充実に努めます。また、多面的な機能を発揮する森林・樹林地として整備・保全を図ります。
- 西部地域にまたがる若山城跡は、中世山城跡として貴重な歴史的・文化的資源であることから、適切な保護・保存に努めながら活用を図ります。
- 若山城跡、福川の旧山陽道沿いに残る古いまちなみや遠石 八幡宮に代表される寺社などの歴史的な景観を大切にし、 後世に引き継いでいくよう地域住民の協力により保全を 図ります。



【若山城跡からの眺望】



【遠石八幡宮】

【公民連携による緑のまちづくりの推進】

● 周南緑地を拠点として、市民と行政の協働による緑のまちづくりや都市緑化の仕組みづくりを積極的に進めていきます。

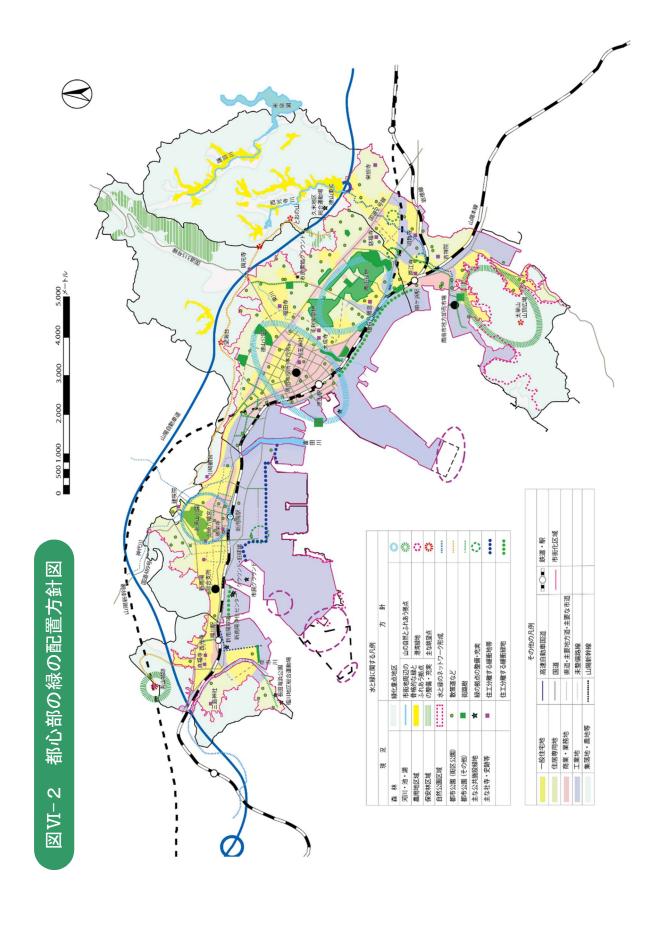
- 街路樹や公園等については、市民と行政の協働による維持管理の仕組みづくりを検討し、公園愛護会等の活動団体に対して、今後とも支援、育成を図ります。
- 山口ゆめ花博で得られた成果(花と緑を活かした地域づくりやまちづくりの推進、県民・市民活動の活発化、人材育成、公園等の地域資源の新たな利活用等)が今後さらに継承される取り組みを支援します。

【緑を守り、増やすための人づくり】

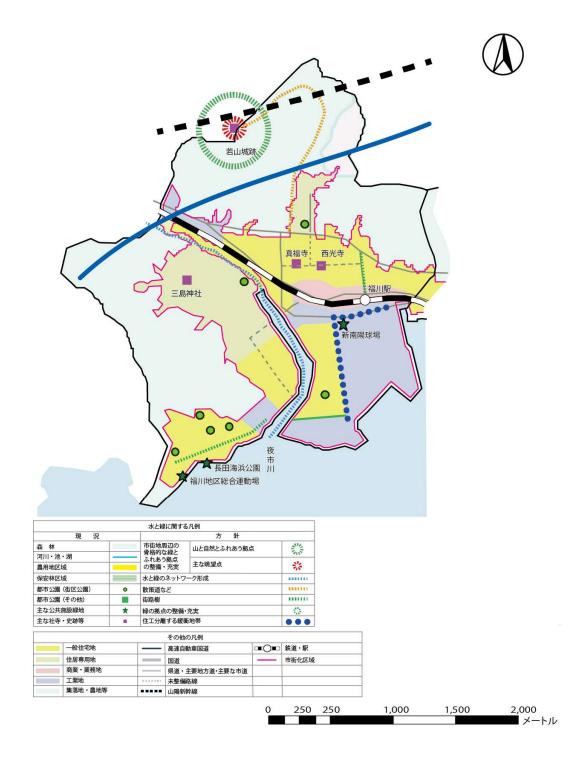
- 永源山公園や徳山公園、周南緑地を核として、緑化に関する各種イベントや講習会等の開催を行います。
- 公園内の樹木に「樹木名板」を設置し、花と緑へのふれあいや自然環境について学ぶ機会を提供することで、地域の樹木に愛着を持ってもらうとともに、緑化意識の高揚を図ります。



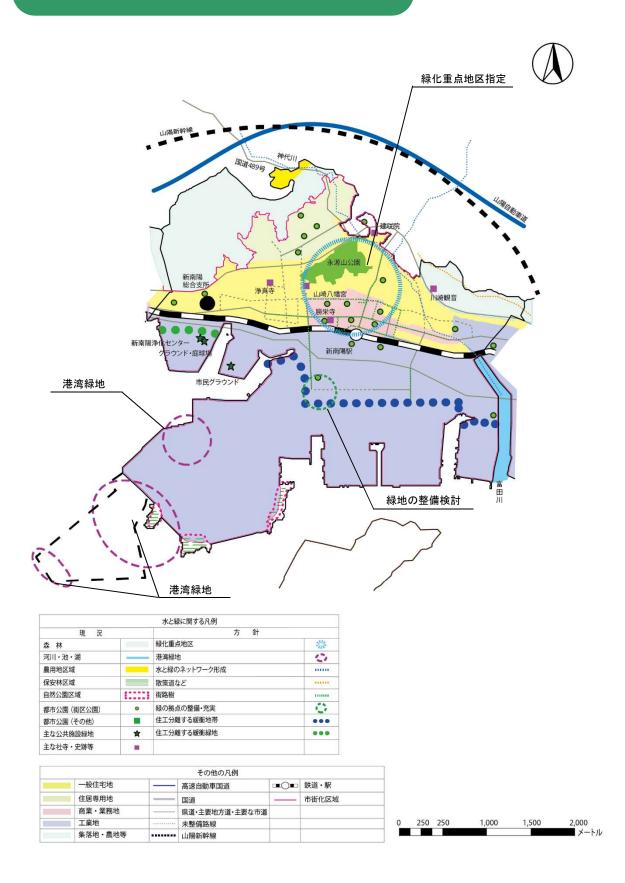
【樹名板の設置】



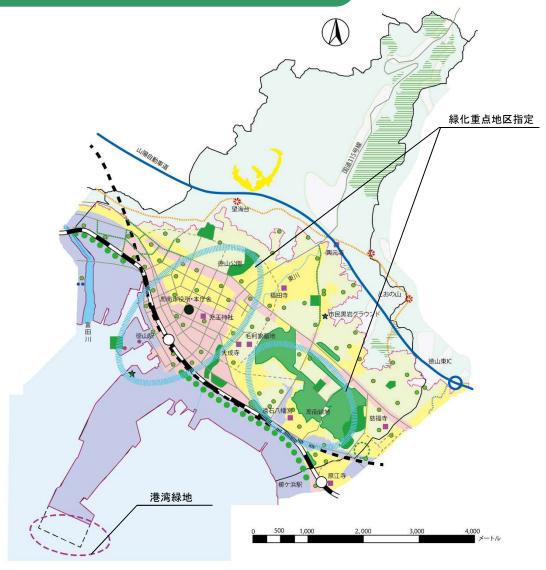
図Ⅵ-3 都心部(福川)の緑の配置方針図



図Ⅵ-4 都心部(富田)の緑の配置方針図



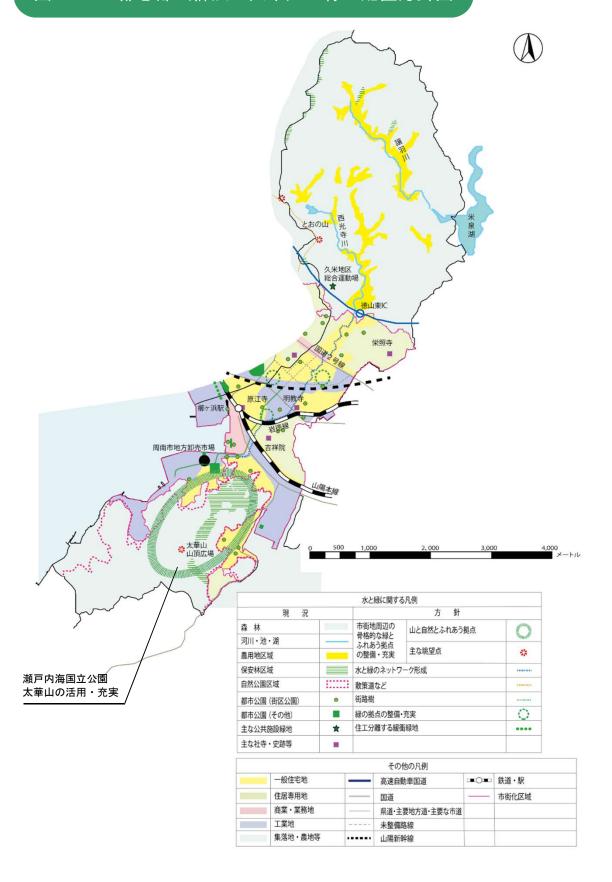
図Ⅵ-5 都心部(徳山)の緑の配置方針図



			水と緑に関する凡例					
現 況		方 針						
森林		緑化重点地区		Sing.	住工分離する緩衝地帯	••••		
河川・池・湖	_	市街地周辺の 骨格的な緑と ふれあう拠点 の整備・充実	山と自然とふれあう拠点 主な眺望点	and **	住工分離する緩衝緑地	••••		
農用地区域								
保安林区域								
都市公園 (街区公園)	0	港湾緑地		0		i i		
都市公園 (その他)		水と緑のネットワ	アーク形成					
主な公共施設緑地	*	散策道など						
主な社寺・史跡等		街路樹		Simus				
		緑の拠点の整備・充実		0				

		その他の凡例	
一般住宅地	-	高速自動車国道	鉄道・駅
住居専用地		国道	 市街化区域
商業・業務地		県道・主要地方道・主要な市道	
工業地		未整備路線	
集落地・農地等		山陽新幹線	

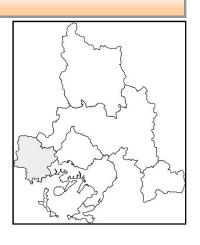
図Ⅵ-6 都心部(櫛浜・久米)の緑の配置方針図



2. 西部地域

西部地域は、夜市川流域の地域であり、黒石山、観音岳、城山、飛松山、昇仙峰といった山林に囲まれ、南側は瀬戸内海に面しています。地域中央に位置する湯野温泉は、周囲の田園風景と調和した空間を形成した観光地となっています。また、国道2号や山陽自動車道徳山西インターチェンジといった広域的な道路が通っています。

- 夜市川水系の河川 (水辺)
- ●優れた眺望地、ハイキングコースである昇仙峰、 観音岳、城山、若山等の山林
- 美しい瀬戸内海と海に面する丘陵地
- 湯野温泉と周辺の田園風景
- 苔谷 (緑地環境保全地区)
- 桜田八幡宮
- 戸田漁港





【湯野温泉】



【湯野温泉 足湯】



【観音岳】



【昇仙峰】

2-1 主な課題

- 地域を流れる夜市川等の河川環境(水辺)の整備と活用が求められます。
- 地域住民が身近に利用する公園・広場については、地域の特性やニーズに対応した、 適切な配置が求められます。
- 森林・里山の荒廃が進んでおり、適切な維持管理と活用が求められます。
- 湯野温泉をいかした、観光・レクリエーション機能の向上が求められます。
- 農地の荒廃、休耕田が増加しており、適切な維持管理と活用が求められます。

2-2 緑の将来像

川と"いで湯"で結ぶ緑豊かな魅力あるまち

2-3 緑の保全と創出に関する地域の方向

【都市の骨格となる緑の保全】

- 昇仙峰、観音岳、城山、若山等地域を囲む森林・樹林地については、地域の景観を特徴づける自然資源として、保安林を中心とした適切な規制・誘導等により保全に努めます。
- 農用地区域を中心に地域に広がる農地の保全を図ります。

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

● 地域を流れる夜市川については、ホタルをはじめ とする多様な生物の生息空間として、多自然型工 法による護岸整備を図ります。



【夜市川】

【利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり】

- 都市公園等は適切な維持管理と活用を図るとともに、リニューアルにあたっては、地元住民のニーズに配慮した誰もが利用しやすい公園として、来園者の立場に立ったユニバーサルデザインによる施設整備に努めます。
- 市域西側における新たなスポーツ・レクリエーション施設として、桑原不燃物処理場跡地の活用を検討します。

【身近なオープンスペースの確保】

- 地域の日常生活において身近な住区基幹公園(街区公園・近隣公園)は、地域の特性やニーズに対応した配置を検討します。
- 地域を流れる夜市川については、水辺の自然環境・景観の保全に配慮しつつ、サンサンロード等の親水空間の創出に努めます。

【緑によるうるおいのあるまちなみの創出】

● 良好な地域環境・景観の保全を図るため、広域幹線道路である国道2号において、適切な街路樹の配置を誘導します。

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

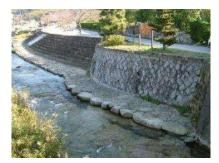
- 住宅地背後における土砂崩壊等の自然災害を防止するため、保安林を中心とした森林・樹林地の保全を図ります。
- 夜市川等の河川については、洪水防止対策等、安全性に配慮した整備・改修を進めます。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- 昇仙峰、観音岳等の山林や丘陵地については、優れた眺望地として、ハイキングコース、散策空間等の創出・保全に努めます。
- 周南市を代表する観光地である湯野温泉の魅力の向上を図るため、サンサンロードをはじめとする湯野温泉や夜市川周辺における緑地の充実を図ります。



【昇仙峰からの眺望】

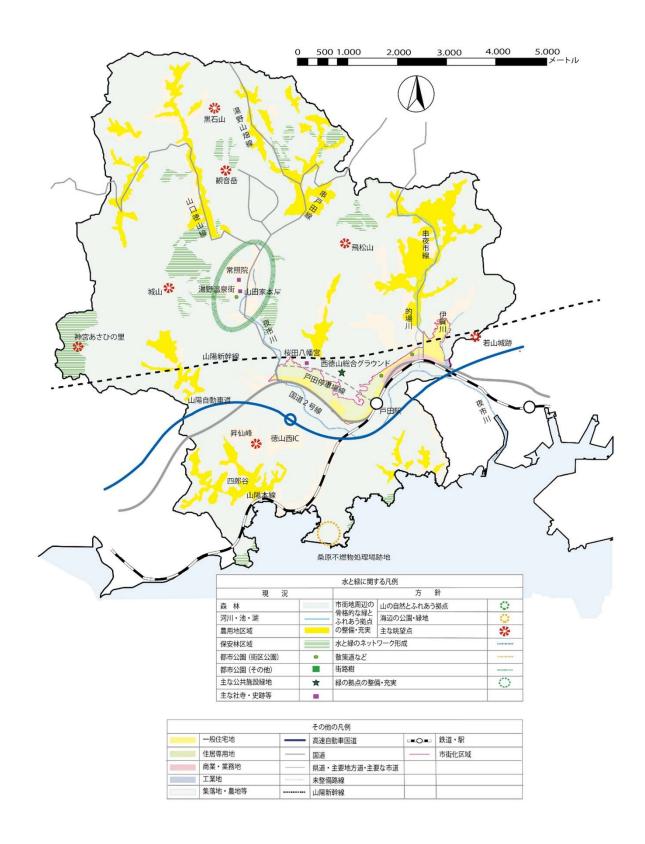


【夜市川サンサンロード】

【公民連携による緑のまちづくりの推進】

● 多くの人が来訪する湯野温泉周辺においては、地域住民や温泉宿の協働による、地域 の美化・緑化活動を支援します。

図Ⅵ-7 西部の緑の配置方針図



3. 北西部地域

北西部地域は、富田川沿いに開けた地域で、地域西側の四熊ヶ岳をはじめとする山林に囲まれています。また、地域北側には菊川湖が位置しており、森林資源とともに水源地にもなっています。地域には美しい棚田が存在し、伝統的な風景が広がっています。

- 四熊ヶ岳の眺望と遊歩道
- 菊川湖・川上ダム、桜谷水源池
- 富田川、神代川、川曲川等の河川(水辺)
- 金明水・銀明水
- 陶の道
- 四熊井谷地区の棚田



【四熊の棚田】



【川上ダム周辺】



【富田川の水辺景観】



【金明水】



【陶の道】

3-1主な課題

- 四熊ヶ岳の保全と活用(登山道等の整備)が求められます。
- 既存公園や、富田川等の河川において、適切な維持管理と活用が求められます。
- 陶の道等の地域資源のPRと、観光・レクリエーション機能の向上が求められます。
- 休耕田が増加及び山林が荒廃しており、適切な維持管理と活用が求められます。

3-2 緑の将来像

水と緑と共に暮らし、憩いと安らぎのあるまち

3-3 緑の保全と創出に関する地域の方向【都市の骨格となる緑の保全】

- 四熊ヶ岳周辺においては、緑の保全及び自然と ふれあえる機能の創出を図ります。
- 菊川湖・桜谷水源池や、富田川、神代川、川曲 川等の河川については、水辺の自然環境・景観 の保全と活用に努めます。
- 地域住民の参加と協働により、地域に存在する 美しい棚田景観の保全に努めます。



【菊川湖】

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

● 地域を流れる富田川、神代川、川曲川等の河川や菊川湖・桜谷水源池といった水辺については、多様な生物の生息空間として、多自然型工法による護岸整備等を図ります。

【利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり】

● 都市公園等は適切な維持管理と活用を図るとともに、リニューアルにあたっては、地元住民のニーズに配慮した誰もが利用しやすい公園として、来園者の立場に立ったユニバーサルデザインによる施設整備に努めます。

【身近なオープンスペースの確保】

- 地域の日常生活において身近な住区基幹公園(街区公園・近隣公園)は、地域の特性やニーズに対応した配置を検討します。
- 人々が憩う道路空間を創出するため、状況に応じて、余裕のある道路を利用したポケットパークの整備を図ります。
- 菊川湖や富田川等の水辺景観をいかし、人々に憩いとうるおいを与える親水空間の整備を図ります。

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

- 住宅地背後における土砂崩壊等の自然災害を防止するため、保安林を中心とした森林・樹林地の保全を図ります。
- 富田川等の河川については、洪水防止対策等、安全性に配慮した整備・改修を進めます。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- 地域の資源である金明水・銀明水をいかすため、 水環境の保全に努めます。
- 地域の歴史・文化的資源である陶の道を活用したレクリエーションルートの創出を図ります。

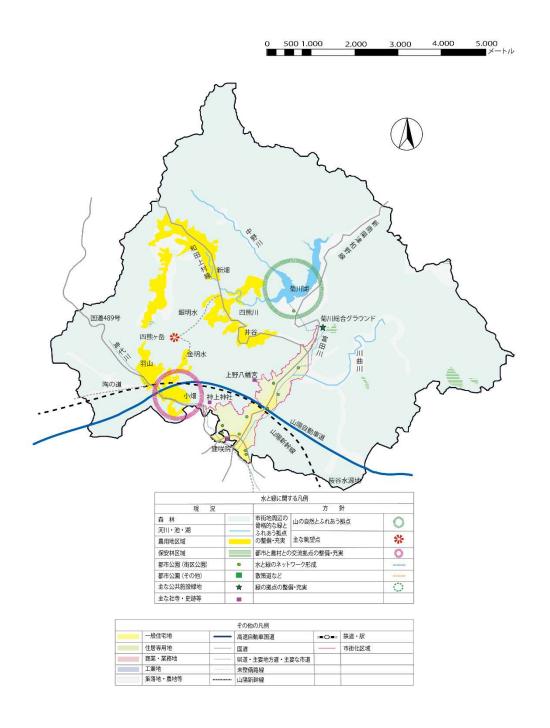


【陶の道】

【公民連携による緑のまちづくりの推進】

● 地域の景観資源である四熊井谷地区の棚田の保全を図るため、地区住民の参加と協働 を誘導します。

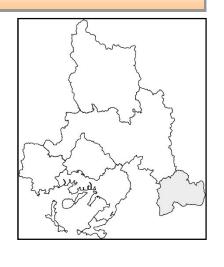
図Ⅵ-8 北西部の緑の配置方針図



4. 東部地域

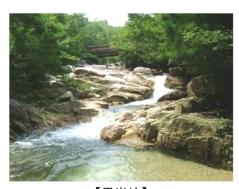
東部地域は、市域の東側で島田川流域に位置し、東側は 烏帽子岳、竜ヶ岳、高塔山といった山林に囲まれています。 地域の東南一帯は石城山県立自然公園に指定されており、 三丘温泉や呼鶴温泉等の観光地が存在しています。

- 黒岩峡、石城山県立自然公園
- 烏帽子岳・ウッドパーク
- 三丘温泉・呼鶴温泉
- 島田川、末武川(魚切の滝)
- 名勝「高水神社夫婦岩」の景観
- 徳修館





【烏帽子岳】



【黒岩峡】



【三丘温泉】



【魚切の滝】



【徳修館】

4-1 主な課題

- 自然・歴史・観光等の地域資源を余暇活動の場として利活用し、地域の特性をいかす ことが望まれています。
- 都市公園については、緑の拠点として地区の個性を彩り、ニーズに対応した、適正な配置が望まれています。
- 既存の公園や河川においては、適切な維持管理と活用が求められます。
- 農地や山林の適正な維持・保全を図ることが求められます。

4-2 緑の将来像

憩いとやすらぎのある緑のなか、コミュニティ豊かに暮らせるまち

4-3 緑の保全と創出に関する地域の方向

【都市の骨格となる緑の保全】

- 黒岩峡に代表される石城山県立自然公園は、優れた景勝地として、貴重な自然の保全 と適切な維持管理を図るとともに、観光資源としての活用とレクリエーションニーズ に応じた機能の充実を図ります。
- 烏帽子岳等の市街地周辺の森林・樹林地については、多面的な機能を発揮する緑地として適切な維持・管理により保全に努めるとともに、自然とふれあえる機能の創出を図ります。
- 地域を流れる島田川、末武川等の河川については、水辺の自然環境・景観の保全と活用に努めます。

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

● 地域を流れる島田川、末武川等の河川については、多様な生物の生息空間として、多 自然型工法による護岸整備等を図ります。

【利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり】

● 都市公園等は適切な維持管理と活用を図るとともに、リニューアルにあたっては、地元住民のニーズに配慮した誰もが利用しやすい公園として、来園者の立場に立ったユニバーサルデザインによる施設整備に努めます。

【身近なオープンスペースの確保】

- 地域の日常生活において身近な住区基幹公園(街区公園・近隣公園)は、地域の特性やニーズに対応した配置を検討します。
- 住宅開発等に伴い設置される公園、広場等について、地域住民との協働により適切な 維持管理を図ります。
- 人々が憩う道路空間を創出するため、状況に応じて、余裕のある道路を利用したポケットパークの整備を図ります。

【緑によるうるおいのあるまちなみの創出】

- 良好な地域環境・景観の保全を図るため、広域幹線道路である国道2号において、適切な街路樹の配置を誘導します。
- 緑豊かでうるおいのあるまちなみを創出するため、道路や学校、公営住宅等の公共施設の美化、緑化を推進します。
- 鉄道駅や商業・業務地周辺の多く人が来訪する地区において、街路樹や植栽帯、花壇等の緑の充実を図り、活気とにぎわいのあるまちなみを創出します。
- 計画的に開発された住宅地については、地区計画制度の活用や緑地協定の締結など、地区住民の協力により、緑化に関するルールを定め、良好な住環境の創出と、維持・保全を誘導します。

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

- 住宅地背後における土砂崩壊等の自然災害を防止するため、保安林を中心とした森林・樹林地の保全を図ります。
- 島田川等の河川については、洪水防止対策等、安全性に配慮した整備・改修を進めます。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- 烏帽子岳ウッドパークは、市民が自然とふれあえる屋外レクリエーションの拠点として、適切な維持管理とレクリエーションニーズに応じた機能の充実を図ります。
- ●優れた観光地である三丘温泉・呼鶴温泉の魅力の向上を図るため、温泉地区周辺において周辺環境との調和に配慮した緑化推進を図ります。



【烏帽子岳ウッドパーク】

- 地域の象徴となる景観資源として、名勝「高水神社夫婦岩」の景観の保全に努めます。
- 旧山陽道沿いに残る<u>市指定文化財</u>の呼坂本陣跡や、県指定文化財である徳修館などの 歴史資源を中心とする景観の保全を図るとともに、伝統芸能を伝承する場になってい る神社等の周辺地域において、市民との協働により景観の保全を図ります。

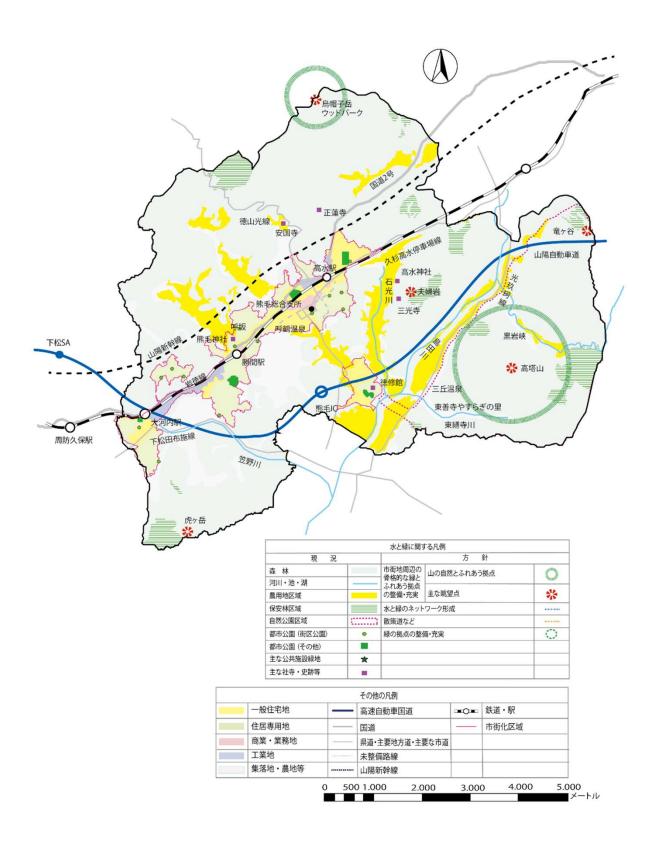
【公民連携による緑のまちづくりの推進】

● 地域の観光資源である三丘温泉周辺に位置する東善寺やすらぎの里等の施設を通じて、自然や農業への理解を深めることで、都市と農山漁村の交流促進を図ります。



【東善寺やすらぎの里】

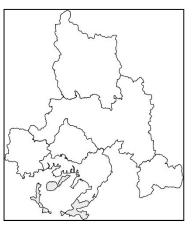
図Ⅵ-9 東部の緑の配置方針図



5. 島しょ部地域

島しょ部地域は、瀬戸内海に浮かぶ大津島・黒髪島等の 島々と、大島半島、粭島から構成される地域です。大津島 には人間魚雷「回天」の記念館と訓練基地跡があり、保養・ 観光・学習ゾーンとしても条件を備えています。

- 瀬戸内海国立公園
- 美しい瀬戸内海と島々が形成する「鼓海」
- 黒髪島常緑樹林 (黒髪山)、仙島山、大津山・鬣山、粭島
- 大津島公園
- 回天記念館、回天訓練基地跡
- 刈尾自然海浜保全地域(砂浜)
- 大島干潟
- 大津島漁港、給・大島漁港





【本浦の石風呂】



【給・大島 (大島) 漁港】



【瀬戸内海国立公園】



【回天記念館】



【粭島の貴船祭り】

5-1 主な課題

- 農地、山林が荒廃しており、適切な維持管理と活用が求められます。
- 地域住民が身近に利用する公園・広場については、地域の特性やニーズに対応した、 適切な配置が求められます。
- 既存公園において、適切な維持管理と活用が求められます。
- 瀬戸内海に面する自然資源や歴史資源の活用、PRによる、観光・レクリエーション機能の充実が求められます。

5-2 緑の将来像

美しい海と山と歴史による交流をいかし、自然を大切にするまち

5-3 緑の保全と創出に関する地域の方向 【都市の骨格となる緑の保全】

● 瀬戸内海国立公園の森林・樹林地が形成する美しい自然環境・景観の保全、活用に努めます。



【刈尾自然海浜】

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

● 森林・樹林地や水辺における自然環境の保全を図るとともに、生物の生息空間に配慮した海岸の護岸整備に努めます。

【利用者の多様なニーズに対応した緑とオープンスペースづくり】

● 都市公園等は適切な維持管理と活用を図るとともに、リニューアルにあたっては、地域の特性や地元住民のニーズに配慮した誰もが利用しやすい公園として、来園者の立場に立ったユニバーサルデザインによる施設整備に努めます。

【身近なオープンスペースの確保】

- 大津島公園は、市民が自然とふれあえる屋外レクリエーション拠点として、レクリエーションニーズに応じた機能の充実を検討します。
- → 大島干潟においては、あさり漁の保全・再生に向けた活動とともに、市民が海に親しむ余暇レクリエーションの機会を提供することで地域及び世代をこえた交流を図ります。

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

● 集落地背後における土砂崩壊等の自然災害を防止するため、保安林を中心とした森林・樹林地の保全を図ります。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- 瀬戸内海国立公園の自然環境・景観の保全と美しい瀬戸内海への眺望の保全を図ります。
- 給大島漁港周辺の干潟や地区の歴史的背景をいかし、観光資源として魅力の創出を図ります。
- 地域固有の歴史資源である、大津島公園、回天記 念館及び回天訓練基地跡については、平和学習の 場として活用を図ります。



【回天記念館】

【公民連携による緑のまちづくりの推進】

● 大津島ふれあいセンター等の施設や特色ある環境を活用し、都市住民が美しい瀬戸内 海の自然とふれあい、体験できるツーリズムの機能充実を図ります。



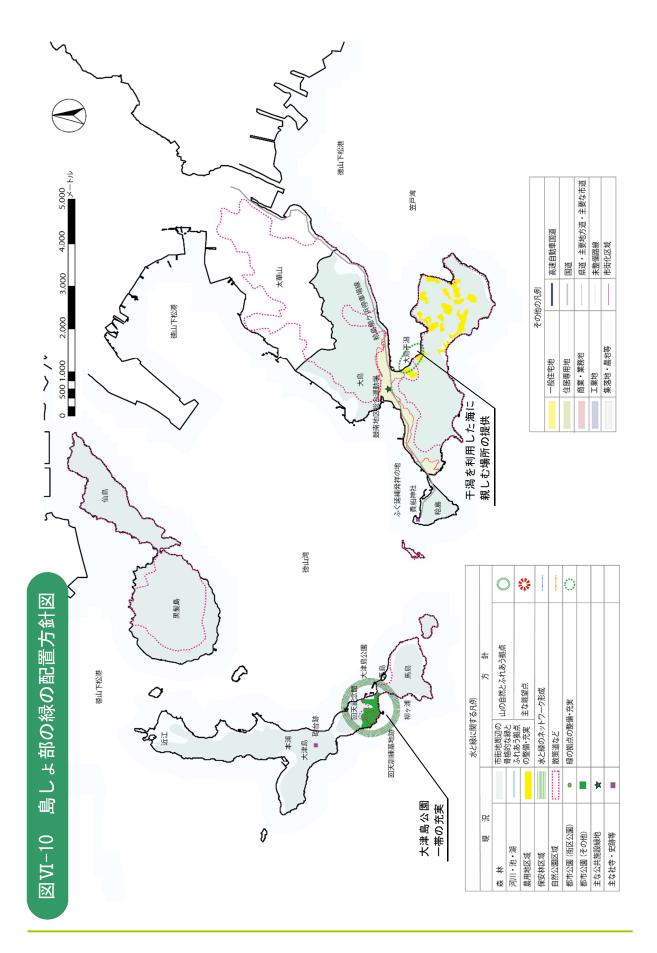
【大津島ふれあいセンター】



【大津島公園周辺】

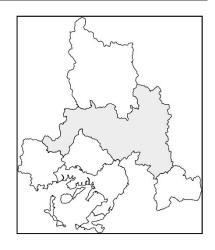


【大島の干潟】



6. 北部地域

北部地域は、市域の中央に位置し、中央に錦川、西側に 島地川が流れ、その上流にはそれぞれ高瀬湖、向道湖、菅 野湖といったダム湖が存在します。また、地域の東側には 国の特別天然記念物に指定されているナベヅルの渡来地 が位置しているとともに、同じく国指定の天然記念物であ る大玉スギをはじめ、明神の藪、周方神社社叢、高瀬先山 のミズメといった市指定の天然記念物が存在する等、貴重 な自然環境を有しています。一方、観光農園が多く立地し ており、自然とふれあい、楽しめる空間を有しています。



- ナベヅル渡来地(特別天然記念物)
- 金峰山、大高神山、緑山、千石岳
- 島地川、高瀬湖、高瀬峡、高瀬サン・スポーツランド、 高瀬峡緑地環境保全地区
- 錦川、向道湖 (ダム)、菅野湖 (ダム)
- 中須棚田と清流の里・中須
- 大玉スギ、明神の藪、周方神社社叢、高瀬先山のミズメ(天然記念物)
- 須々万ふれあいの森・大田原自然の家
- 龍文寺、須々万沼城
- 大道理鹿野地の棚田と芝桜



【高瀬峡】



【金峰山】



【八代のナベヅル】



【龍文寺】



【高瀬峡サン・スポーツランド】

6-1 主な課題

- 農地、山林が荒廃しており、適切な維持管理と活用が求められます。
- 地域住民が身近に利用する公園・広場については、地域の特性やニーズに応じた適切な配置が求められます。
- ダム湖、河川の水辺空間において、適切な維持管理と活用が求められます。
- ナベヅル渡来地に代表される自然資源や歴史・文化資源といった地域資源をいかした、 観光・レクリエーション機能の充実が求められます。

6-2 緑の将来像

恵まれた水と緑にいだかれ、人と動植物が共生し、 自然とふれあいながら暮らせるまち

6-3 緑の保全と創出に関する地域の方向 【都市の骨格となる緑の保全】

- 地区住民と協力し、中須北地区と大道理鹿野地地区に広がる美しい棚田景観の保全に努めます。
- 地域西側を流れる島地川及び高瀬湖、高瀬峡は、優れた 自然環境を有する景勝地として、水辺の自然環境・景観 の保全に配慮しつつ、親水空間の創出に努めます。
- 地域中央を流れる錦川及び向道湖、菅野湖については、 うるおいのある水辺の自然環境・景観の保全に配慮し、 親水空間の創出に努めます。



【中須北地区の棚田】

● 自然とふれあい、楽しめる空間として、地域に存在する観光農園の保全・活用を図ります。

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

- 国の特別天然記念物であるナベヅル渡来地は、「ツル保護総合計画」に基づき、渡来地周辺を含めた生息環境の育成を図るため、田園環境や里山の整備等、保護・保存に努めます。
- ホタル祭りが開催されるなど、ホタルが成育する豊かな 自然環境が残されている地区においては、地域住民との 協働により保全を図ります。
- 地域を流れる錦川、島地川等の河川や向道湖、菅野湖、 高瀬湖等の水辺については、多様な生物の生息空間として、多自然型工法による護岸整備等を図ります。



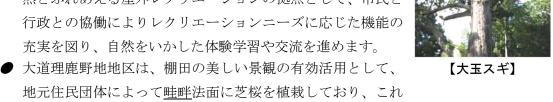
【島地川】

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

● 集落地背後における土砂崩壊等の自然災害を防止するため、保安林を中心とした森 林・樹林地の保全を図ります。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- 地域を象徴する貴重な植生として、天然記念物「大玉スギ」の保護・保存に努めます。
- 四季の美しさや渓谷のせせらぎ等、都市住民の癒しの場とな る高瀬峡や高瀬湖周辺においては、自然環境をいかした屋外 スポーツ・レクリエーション機能の拠点として、新平ヶ原公 園等の施設の適切な維持管理と活用に努めます。
- 須々万ふれあいの森や大田原自然の家については、市民が自 然とふれあえる屋外レクリエーションの拠点として、市民と 行政との協働によりレクリエーションニーズに応じた機能の 充実を図り、自然をいかした体験学習や交流を進めます。



【公民連携による緑のまちづくりの推進】

● 須々万ふれあいの森や大田原自然の家、須金フルーツランド等の観光農園といった施 設を活かし、ツーリズムの機能充実を図り、自然や農林業への理解を深めることで、 都市と農山漁村の交流促進を図ります。

を観光資源としたイベントが開催される等、都市と農山漁村の交流を図っています。

【緑を守り、増やすための人づくり】

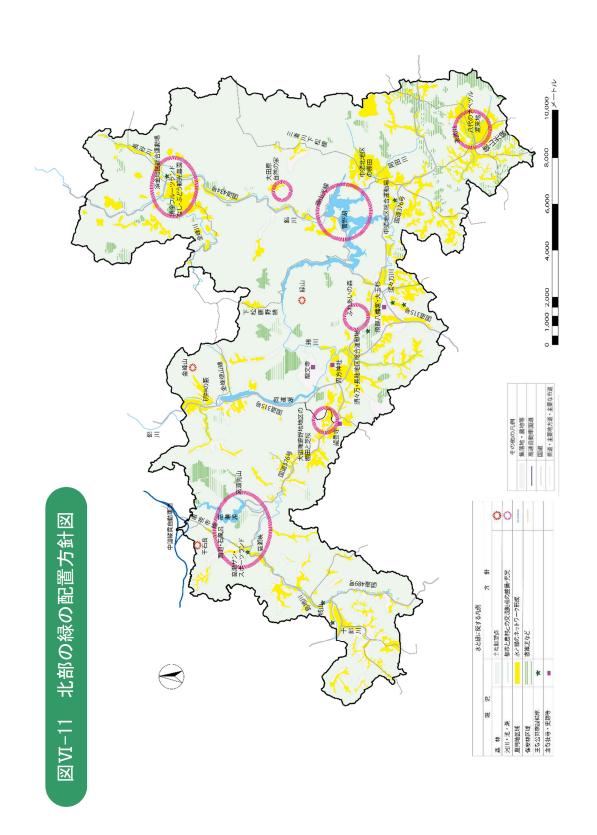
● 「棚田清流の会」や「大道理百笑倶楽部」における取り組みを支援するなど、自主的 に活動する団体や人材の育成を図ります。



【観光農園】



【大田原自然の家】



7. 中山間部地域

中山間部地域は、市域の最北部に位置し、山口県内一の延長と流域面積を有する錦川の源流と佐波川支流の流域にあたり、周囲は金峰山、石ヶ岳、飯ヶ岳、莇ヶ岳、弟見山、馬糞ヶ岳、長野山等、山口県百名山に位置づけられている1,000m級の雄大な山々に囲まれています。また、石船温泉やせせらぎ・豊鹿里パークといった、地域資源をいかした広域的な観光レクリエーション施設が豊富に存在しています。

【清流通り(しだれ桜)】

- 長野山緑地、五万堂渓谷・赤滝、ブナの原生林
- 鹿野天神山公園
- せせらぎ・豊鹿里パーク「オートキャンプ場」
- 石船温泉
- 漢陽寺(名庭・曲水の庭、潮音洞)、龍雲寺(龍頭苑、 白水苑、大望園)、二所山田神社(鎮守の森巨木群)
- 清流通り(しだれ桜)
- 清流錦川の源流部
- 県指定天然記念物「秘密尾の氷見神社社叢」、「須万風呂ヶ原のエノキ」
- シャクナゲ、ササユリ等の山野草
- 石ヶ岳、飯ヶ岳、莇ヶ岳、弟見山、馬糞ヶ岳、長野山、高岳、烏帽子岳



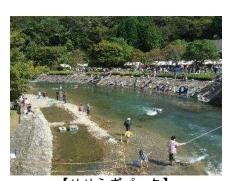
【五万堂渓谷・赤滝】



【石船温泉】



【漢陽寺(名庭・曲水の庭】



【せせらぎパーク】

7-1主な課題

- 農地、山林が荒廃しており、適切な維持管理と活用が求められます。
- 地域住民が身近に利用する公園・広場については、地域の特性やニーズに対応した、 適切な配置が求められます。
- 既存公園や街路樹において、適切な維持管理と活用が求められます。
- 緑豊かな森林・山野草、清流といった貴重な自然資源をいかした、観光・レクリエーション機能の充実が求められます。

7-2 緑の将来像

高原の豊かな緑と清流のもと、自然と歴史を味わう癒しのまち

7-3 緑の保全と創出に関する地域の方向 【都市の骨格となる緑の保全】

- 山口県百名山に代表される緑豊かな森林・樹林地の開発 等に対する規制・誘導と、適切な維持管理の促進等により、貴重な水源の保全を図ります。
- 山口県内一の延長・流域面積を誇る錦川の源流部として、水辺の自然環境・景観の保全に配慮しつつ、 人々に愛され親しまれる川づくりを進めます。



【河川愛護月間推進標語優秀賞】 ~川が好き 川にうつった空が好き~

【自然環境との共生に配慮した緑の保全、育成】

- 天然記念物やシャクナゲ、一輪草等の山野草、ブナの原生林といった広大な森林部に おける貴重な動植物の生息環境の保護を図ります。
- 清流錦川の源流部として、ホタルが棲める自然が豊かな水辺環境を保全します。
- 散策道、ハイキングコース、中国自然歩道においては、多様な生態系への配慮に努めます。

【身近なオープンスペースの確保】

- 鹿野天神山公園は、中山間地域の拠点となる公園・緑地として、適切な維持管理と活用、公園機能の充実を図ります。
- 農村公園等の身近なオープンスペースの保全と活用を図ります。



【鹿野天神山公園】

【安心・安全に暮らせる緑の創出】

● 集落地背後における土砂崩壊等の自然災害を防止するため、保安林を中心とした森林・樹林地の保全を図ります。

【地域の個性や資源の保全・活用】

- 長野山緑地は、都市住民が自然とふれあえる屋外レクリエーションの拠点として、五 万堂渓谷・赤滝といった貴重な自然資源の保護に配慮し、適切な維持・管理とレクリ エーションニーズに応じた機能の充実を図ります。
- 『曲水の庭』に代表される様々なタイプの庭園がある漢陽寺や、龍雲寺、二所山田神 社等の社寺境内地周辺の緑、「平成の名水百選」に選ばれた潮音洞や清流通りは、地域 の歴史・文化を象徴する資源として、またうるおいと安らぎを感じる景観資源として、 将来にわたり保全、継承していきます。
- 優れた観光地として、石船温泉周辺の魅力の向上を図るため、周辺施設との調和に配 慮した緑化推進を図ります。
- せせらぎ・豊鹿里パーク「オートキャンプ場」は、うるおいのある水辺環境をいかした屋外レクリエーションの拠点として、適切な維持管理と活用を図ります。
- 莇ヶ岳は、中国山脈が一望でき、弟見山への縦走路が整備され、周辺にシャクナゲやイワカガミ等の亜高山植物が生育している場所もあるため、自然環境の保全とこれをいかしたレクリエーション地としての整備に努めます。

【公民連携による緑のまちづくりの推進】

● せせらぎ・豊鹿里パークの体験農園をいかし、ツーリズムの機能を充実させ、人々が 食と緑への理解を深めることで、都市と農山漁村の交流促進を図ります。

【緑を守り、増やすための人づくり】

● 鹿野天神山公園や長野山緑地を活用し、自然を体験し、学ぶことのできる、各種イベントや講習会等の開催を検討します。



【清流通り】



【オートキャンプ場】



【潮音洞】



【ササユリ】

図Ⅵ-12 中山間部の緑の配置方針図

